

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年7月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103060
法人名	医療法人 仁愛会
事業所名	グループホーム 笑憩の里
所在地	鹿児島県鹿児島市吉野町5221番地1 (電話) 099-295-8650
自己評価作成日	平成28年4月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年5月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 入所前には、家族だけでなく本人や入所前の施設の相談員などから直接お会いして、不安や意向を伺っておりケアプランやケアに反映している。
- 入居者の一人一人のペースに合わせたケアを心がけている。
- 入居者・家族・職員の意見をよく聞き情報の共有に努めている。
- 利用者に安全で安心して頂けるよう、職員は目配り気配りに努めている。
- 第4木曜日は、防災時に備えた防火防災対策(避難訓練等)を実施している。
- 天気の良い日は園庭の庭散歩や日光浴等、室内では国民体操等で体を動かしカラオケや回想法などに参加され利用者は表情よく過ごされている。
- かかりつけ医の定期的往診や病院の看護師に体調変化を相談が出来、適切な医療に繋がっている。
- 地域代表等には、運営推進会議、家族の集い、敬老会に出席いただいております、第三者の立場から意見や提案を下され、運営に反映している。
- 職員は、職員会議等で業務改善に向けた意見をしっかり伝えている。
- 代表者は管理者や職員の意見を尊重し働きやすい環境作りに努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は医療法人グループの一つで、2ユニットのグループホームが独立して建てられており、災害時の協力関係も構築されている。
- ・理念を大切に「目配り、気配り」をモットーに職員が協力して利用者の気持ちに寄り添い、サービスを提供できるように努めており、家族からも評価されている。
- ・災害対策として消防署立会いのもと定期的な訓練と自主で防災の日を設け、昼夜想定の実施している。
- ・地域の行事に参加したり、駅伝応援や運動会見物に出かけている。地域の「よかど会」に参加して情報交換したり、認知症サポーター養成講座を開催するなど、地域交流を深めている。
- ・代表者や管理者は働きやすい環境作りに配慮し、職員の意見や提案を積極的に反映させている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホームの理念「いっしょに楽しくゆったり」と過ごせるように急がずあわてず入居者様とのコミュニケーションに努めている。 	<p>理念をもとに、管理者・職員で、年間目標を掲げて、毎朝、申し送り時に唱和している。ユニット会議や全体会議で確認し、日常生活の支援に活かしている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事や運動会は最近参加は出来ないが、駅伝大会マラソン大会は町民の一員として応援させて頂いている。 	<p>運営推進会議等で地域の情報を得て、地域の行事や駅伝応援・運動会等に出かけている。事業所の行事にも地域の人々の参加やボランティアの受け入れなどもあり地域との交流を行っている。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の事業所の方々と会議を通じ意見交換を行って、地域の方への発信をしている。 	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 町民会長. 民生委員. 利用者. ご家族. 長寿安心相談センター職員に参加して頂き、活動報告. 意見や提案を伺い時には第三者の立場から厳しい意見も頂き運営に反映している。 	<p>会議は定期的開催している。事業所の状況や外部評価の報告などをして、意見交換を行っている。そこでの助言で服薬管理などの意見が出されサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市の相談員を受け入れ、行政の制度の改正や実状やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら協力関係を築いていくように心がけている。 	<p>市担当者とは、必要に応じて電話や窓口に出向き利用者の相談や情報を報告し助言を貰っている。支所も近くで気軽に相談できている。介護相談員の受け入れも積極的に行っている。運営推進会議も毎回参加して貰い施設での利用者の状況やサービス内容を知ってもらい情報交換など協力関係にある。生活保護担当者とも連絡し合っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束は絶対してはいけない事を常に守っているがきけんを感じる時ややむ得ず行う場合はケースカンファレンスを開き家族や法人との話し合いを持ってケアに取り組んでいる。行った場合は、記録と時間を残すようにしている。 	<p>定期的な研修会を実施し、対象となる事例検討会などで職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。昼間は玄関の施錠はせずに、ブザーや見守りなど職員間の連携で安全な暮らしを支援している。外出したい利用者には職員と一緒にさりげなく寄り添い世間話しをしたりしながら散歩に切り替えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で皮膚観察や言葉での虐待が無いよう気を付けている。 職員は心のゆとりを持ち入居者にとって良い施設、過ごしやすい施設を意識している。 		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 花倉病院のP S Wと連携している。 職員は成年後見人制度や権利擁護についての理解に努めている。 		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 入所時に十分な説明を行い理解して頂いた上での契約を行っています。 変更や改定時の場合は速やかに家族へ連絡し、理解や同意を頂いている。 		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2ヶ月に1度運営推進会議を行い入居者やその家族の意見を聞き運営に反映させている。 玄関に意見箱を設置している 笑憩だよりや行事の案内を郵送している。 	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き思いを把握している。家族からは面会時や家族会・電話・運営推進会議・アンケートから意見等を聞いている。意見箱も設置している。毎月、話題が出やすいように笑憩だよりを定期的に郵送し、意見等を運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 月に1度職員会議で（業務改善等）の意見や提案が出来、運営に反映している。 新人職員にも分かり易くマニュアルで説明している。 個人面談で意見を聞いている 	<p>管理者は職員会議等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、意見を聞いている。日頃から職員とのコミュニケーションを図り、日常のケアの中で気軽に相談できる雰囲気作りに取り組んでいる。提案により家族会を「母の日」の前日に開催し、出席しやすくするなど運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 希望休みを確認し勤務表を作成している。 入社時健診、定期職員健診を行っている。 休憩場所の設置や休憩時間の工夫も職員と話合っている。 オンコール体勢の整備がある 		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の職員会議での内部研修 職員は個人で（法人研修案内等）外部研修に参加している 「手洗い方法・汚物処理方法」をDVDで学んだり、その都度適切な指導や助言をした。 		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域のよかど会の参加交流している。 県・鹿児島熊毛支部連絡協議会に加入している。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 入所前に訪問や本人その家族に見学して頂き不安、要望を聞く体制を整えている。 安心して生活できるよう信頼関係づくりに努めている。 		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 入所前に、家族の要望や不安など、耳を傾け信頼関係に努めている。 誠意ある対応を行っている。 		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> あらゆる場面で情報収集を行い最善のサービス提供が出来るよう努めている。 関係機関との連携を図りよりよい支援が出来るよう努めている。 		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家事協働時には、「ありがとう」と感謝の意を伝えている 自分の家族という想いで入居者には尊厳を持って接している。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の思いを受け止め、職員の思いを押し付けず、家族の思いを大切にしている。 ・本人と家族の関係性を継続している。」 ・情報の共有を欠かさず行っている。 		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外出・電話等支援して関係が途切れないよう努めている。 ・家族と相談連携し、無理の無い範囲で法事などに参加している。 	<p>親族や馴染みの友人・知人が面会に気軽に立ち寄れるような雰囲気作りを工夫している。行きつけの理・美容院利用や外出先で知人・親戚と会ったり、手紙や電話の取次をしたりして関係性の維持に努めている。家族の協力で家族旅行や外出・外食・墓参などを支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・馬が合う入居者同士同じテーブルになるよう考慮し話し合い決めている。 ・レクリエーションを通じ共有できる時間を設け一緒に楽しむ支援をしている。 		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時には、お見舞いや電話で様子を伺っている。 ・家族の悩みや相談は随時受け付けており必要があれば機関の紹介するなどに努めている 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> 不安や思いを聞き、出来るだけ本人の意向に沿うよう努めている。 コミュニケーションを図り、意向や思いを汲み取るよう努めている。 	日々の生活の中で、利用者の言葉や表情などから思いを把握している。「24時間シート」に記録し、利用者の意欲的な行動や生活全般を意識してその人らしい意向を汲み取れるようにしている。把握が困難な場合は家族から情報を得たり職員間で話し合い、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 家族や以前入所していた施設から情報提供して頂き、全職員で共有している。 受診する病院は、可能な限り本人が長年受診していた病院へそのままにしている。 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 心身の状態に合わせた体操、レクリエーション等支援している。 本人が無理なく出来るようセッティングし、できる事をして頂くよう努めている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング、アセスメント、ケースカンファ、プラン等職員間で共有している。 ・プラン見直し時はモニタリングを行い、本人、家族、職員、医師の意見を聞き作成している。 ・プランは本人家族へ説明し同意を得ている。 	<p>本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も取り入れ個々に応じた介護計画を作成している。</p> <p>3ヶ月毎にモニタリングを実施し、必要に応じて見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の引継ぎ随時情報交換を職員間で行い些細なへんかも見逃さないように努めている ・日勤夜勤で個別に記録を残して、支援に活かしている。 ・情報の共有を怠らないように努めている。 		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病院受診支援や個別の外出など支援し柔軟な対応をしている。 ・家族の状況を把握しており、本人の状況に応じた柔軟な支援に努めている。 		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや地域の方の訪問を受け入れ、入居者との交流や同伴外出など楽しみが持てるよう努めている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時には、かかりつけ医の希望を伺い関係の継続に努めている。 ・かかりつけ医を変更する場合は、情報提供を行い医療の継続に努めている。 ・専門医とは必要に応じて情報提供し、指示を仰いでいる。 	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。主治医へ情報提供し指示を仰いでいる。かかりつけ医の定期的往診もある。受診状況は家族に連絡し共有している。緊急時の対応など連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回(週1回)の定期往診時は、情報提供し医療連携を図っている。 ・急変時はFAX(口頭)にて連絡し相談している。 ・常勤の看護師等から必要時処置の指導を受けている。 	/	/
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時は医療機関への情報提供を行い連携している。 ・退院受け入れ時は状態の把握(連携を図る)に努め受け入れ態勢を整えている。また家族の意向も伺い早めに退院できるよう努めている。 	/	/
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入所契約時に書面で説明し家族の意向を伺っている。 ・入院3週目でサービス担当者会議を設定し、今後の方向性について話し合う機会を設けている。 	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い随時話し合い、主治医や関係者の連携のもと家族と方向性を共有し取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人材不足により定期的研修は行えていないが緊急要請の場合は、オンコール体制や利用者情報ファイルで、慌てずに対応出来きている。 		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 防火、防災マニュアルがある。 月1回避難訓練（防災に関わる自主訓練）を実施している。 年2回消防隊の指導を受け総合訓練（講評を受ける）を行っている。 	<p>災害マニュアルがあり、年2回消防署立会いのもと、昼夜想定避難訓練他、自主で毎月「防災の日」を設け実施している。地域住民へも見守りの協力を依頼している。スプリンクラーや緊急通報装置が設置され、防災頭巾もある。緊急時は町内会長に連絡をする協力体制ができている。災害時の水や食料品等の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりや気配りを絶えず行っている。 ・声かけ介助する際は状況や状態に十分配慮している。 ・利用者の生活歴などの理解に努めながら対応している。 	<p>人格やプライバシーに配慮し、トイレや入浴等で馴れ合いにならない言葉かけや対応に留意している。ゆっくり傾聴することで安心して過ごせるよう配慮している。利用者の今までの暮らしや日常会話から人・地域・社会との関わりを踏まえ、それぞれの人格の尊重を図り、プライバシーの保護にも努めケアに取り組んでいる。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな時でも「～しましょうか」と問いかけ本人の希望が聞けるように努めている。 ・本人の希望を重視、可能な限り希望に沿うようにしている 		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話をよく聴き、希望を優先する対応を心がけ、努めている ・一人ひとりのペースに合わせた暮らしや支援を行っている 		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・洋服は、本人の意見好みを聞き衣服調整を支援している。 ・清潔保持に努め、随時整髪等行っている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> 本人に合った食事形態を工夫し無理なく摂取出来るよう努めている。 月1回お弁当を取り入れる。 調理協働に参加頂き食への興味を持って頂くよう対応している。 	<p>利用者の好みを取り入れた献立や食事形態を工夫している。利用者個々人の力を活かし、準備や後片づけを職員と一緒にしている。月1回は弁当の日である。誕生日や季節の行事食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。家族の協力を得て外食に行く利用者もいる。</p>	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> 小まめな水分補給やOS1ゼリー等を柔軟に利用している。 家族の持ち込み分を優先し、トロミや甘味を追加し、本人のペースで飲んでいただくよう対応している。 		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> 毎食後声かけを行い、必要に応じ見守りアドバイスする。 無理のない口腔ケアの支援を行い、舌ブラシの使用等清潔保持に努めている。 		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	<ul style="list-style-type: none"> 排泄パターンを把握し、時間的トイレ案内で、失敗を減らすよう努めている。 訴えやすい雰囲気心をかけている。 排泄に時間を要する事もあり、“ふんばるくん”を使用し、見守り支援している。 	<p>排泄記録から排泄パターンや習慣を把握して、自尊心に配慮した声かけや誘導でトイレでの排泄や排泄の自立を支援している。表情や動作・移動時の状況把握を行い介助の関わりを個別化してケアに取り組んでいる。できるだけ綿パンツを心掛けている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・本人に合わせカスピカイヨーグルトを提供している。 ・国民体操等で体を動かすレク活動を行っている。 ・医師処方 of 緩下剤を服薬支援 		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・週2回の入浴を支援。 ・体調を考慮し無理のない入浴を支援（入浴日調整）する。 ・拒否の理由を協議、対策を検討し、自主的に入浴できるよう取り組んでいる。 ・爽快感やリラックスできるよう努めている。 	入浴は基本的に週2日であるが、その日の体調や希望に添って対応している。入浴時、心臓などに大きな負担をかけないように、温度を適温に心がけたり、立ちくらみの転倒予防など十分に配慮しながら入浴が楽しく安全にできるように支援している。入浴を拒む利用者にも声かけやタイミングを工夫して個々に応じた入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・日中の生活や個人に合わせた午睡を支援している。 ・入床時間の配慮や信頼関係を築くよう努めている。 ・医師処方（眠剤）の服薬支援 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・薬情報は個人ファイルに収納 ・臨時薬は記録に残し引き継いでいる。（医師へ経過報告する。） ・服薬前は、職員のダブル確認を徹底（準備もダブル確認）する 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> • 能力に応じた協働を支援 • 誕生日にはお弁当や好みをメニューに献立を作成する。 • 利用者の交流の見守り声かけカラオケや回想法など支援で笑顔で過ごせている。 		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> • 希望に応じて買い物支援（ボランティアの協力もある） • 家族からの希望があれば外出出来るよう準備対応している • 花見などの外出の機会がある • 天気の良い日は園庭を散歩同伴を心がけている。 	日常的には園庭や周辺の散歩等を行って地域とのつながりを作ったりしている。介護タクシーを利用して買い物に出かけたり、花見や初詣・外出・外食等に出かけている。家族と外食を楽しむ利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> • 買い物支援の際は購入時に支払いをして頂いている。 • 小口預かり金を出納長で管理し、外出時使用出来る。 • 個人が所持し、「無くなった」ら一緒に探すようにしている。 		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> • いつでも本人が電話を使える状態にあり使用している。 • 希望時は手紙を預かり投函している。（切手購入を支援） • 曜日を決めて家族への電話を取り次いでいる。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じて空調の調整や窓の開閉、クリーン作戦、湿度調整（加湿器の使用等）を行っている。 ・季節に応じた飾り物など掲示して利用者に伝えている。 	共用空間は広々として中庭もあり開放感がある。採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。壁には利用者の作品や行事の写真が掲示され、季節を大事にした飾りつけがされている。台所と食堂ホールがオープンになっていて、生活感が保てるように工夫し、畳のコーナーやゆったりしたソファがあり、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・個人のペースで自由に過ごせるよう（一人で新聞を読む・仲間と自由に話せる空間がある。）見守る。 ・好きなカラオケを設定する。 ・座る場所は、利用者と話し合って決めている。 		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・入所前から家族とも話し合っけて居室づくりしている。 ・仏壇や、使い慣れた家具家族との思い出の写真など、居室に置いてくつろげるように配慮している。 	居室はベッドと冷暖房器具が備え付けである。寝具や仏壇・絵画・ぬいぐるみ・キーボード・写真など、使い慣れたタンスや家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は、利用者の行動と安全を見守りよう心がけている ・目配り、気配り、声かけを行い安全に過ごせるよう工夫している。 		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない